

(様式-1)

## 栃木県公共事業事前評価・自己評価書 [県土整備部 道路事業]

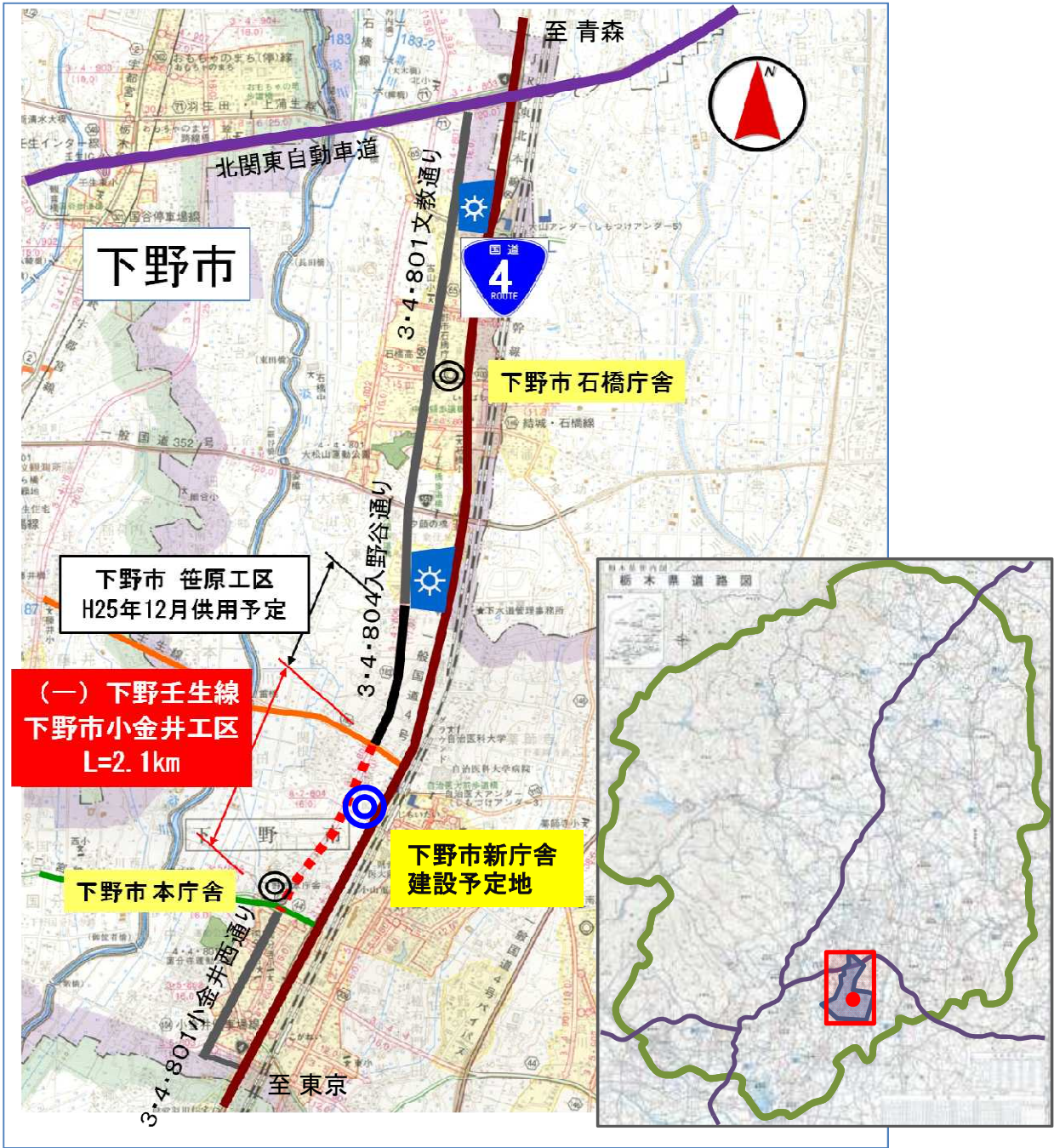
1/2

事業概要調書											
1 事業名	道路事業										
2 事業箇所	一般県道 <sup>しもつけみぶ</sup> 下野壬生線 下野市 <sup>しもつけし</sup> 小金井 <sup>こがねい</sup> 工区										
3 事業の概要	(1) 事業目的 <p>一般県道下野壬生線は、下野市<sup>ささばら</sup>笹原を起点とし、下都賀郡<sup>しもつがぐん</sup>壬生町<sup>ちゅうおうちょう</sup>中央町に至る延長約7.0kmの幹線道路であり、本路線を含む都市計画道路（文教<sup>ぶんきょう</sup>通り、入野谷<sup>いりのや</sup>通り、小金井<sup>こがねいにし</sup>西通り）は、旧石橋<sup>いしばしまち</sup>町と旧国分寺<sup>こくぶんじまち</sup>町の市街地を結び、下野市の南北を連絡する地域の生活を支える主要な道路であり、国道4号を補完する道路でもある。また、本地域に立地する石橋第2、第3工業団地は、慢性的に渋滞する国道4号を利用するため、地域の産業活動に支障を来している。</p> <p>小金井工区は、この都市計画道路（小金井西通り）の一部を担う延長2,100mの2車線道路であり、本工区の整備により、今年度供用予定の笹原工区と併せ、下野市を南北に縦貫する道路ネットワークの強化を図るものである。</p> <p>小金井工区は以下を事業目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道4号の渋滞緩和</li> <li>・都市拠点間の連携強化</li> </ul>										
	(2) 事業内容 <p>【計画の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北の交通が国道4号に集中していることから、新たな南北の道路ネットワークとして延長2,100mのバイパス道路を整備する。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>全体延長 : 約2,100m</td> <td>現況交通量(H22年) : 一台/日</td> </tr> <tr> <td>道路幅員 : 17.0m</td> <td>参考(国道4号) : 19,900台/日</td> </tr> <tr> <td>車線数 : 2車線</td> <td>計画交通量(H42年) : 8,600台/日(BP)</td> </tr> <tr> <td>道路区分 : 3種2級</td> <td>設計速度 : 60km/h</td> </tr> <tr> <td></td> <td>構造物等 : -</td> </tr> </table>	全体延長 : 約2,100m	現況交通量(H22年) : 一台/日	道路幅員 : 17.0m	参考(国道4号) : 19,900台/日	車線数 : 2車線	計画交通量(H42年) : 8,600台/日(BP)	道路区分 : 3種2級	設計速度 : 60km/h		構造物等 : -
	全体延長 : 約2,100m	現況交通量(H22年) : 一台/日									
	道路幅員 : 17.0m	参考(国道4号) : 19,900台/日									
	車線数 : 2車線	計画交通量(H42年) : 8,600台/日(BP)									
道路区分 : 3種2級	設計速度 : 60km/h										
	構造物等 : -										
(3) 事業予定期間	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度～平成29年度</td> <td rowspan="2">用地調査、用地取得 工事実施</td> </tr> <tr> <td>平成30年度～平成33年度</td> </tr> </tbody> </table>	期間	事業内容	平成26年度～平成29年度	用地調査、用地取得 工事実施	平成30年度～平成33年度					
期間	事業内容										
平成26年度～平成29年度	用地調査、用地取得 工事実施										
平成30年度～平成33年度											
(4) 事業費及び内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費</th> <th>約20億円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費内訳</td> <td>           工事費 : 約7.0億円            用地補償費 : 約12.0億円            測量設計費 : 約1.0億円         </td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td>国費 : 55%、県費 : 45%</td> </tr> </tbody> </table>	事業費	約20億円	事業費内訳	工事費 : 約7.0億円 用地補償費 : 約12.0億円 測量設計費 : 約1.0億円	財源内訳	国費 : 55%、県費 : 45%				
事業費	約20億円										
事業費内訳	工事費 : 約7.0億円 用地補償費 : 約12.0億円 測量設計費 : 約1.0億円										
財源内訳	国費 : 55%、県費 : 45%										
(5) 事業発案の経緯・背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工区北側に接続する笹原工区が平成25年度に完成供用予定</li> <li>・下野市からの早期整備要望</li> </ul>										
4 県計画への位置付け	栃木県の道路・交通分野の将来構想である「人にやさしい県土60分構想」に基づき、都市内における拠点を結ぶとともに地域の生活を支える安全で快適な道路づくりを目指す。										
5 他計画・他事業との関連	<table border="1"> <tr> <td>笹原工区（道路事業）</td> <td>H18～H25</td> </tr> <tr> <td>下野市新庁舎建設</td> <td>H28年4月開庁予定</td> </tr> </table>	笹原工区（道路事業）	H18～H25	下野市新庁舎建設	H28年4月開庁予定						
笹原工区（道路事業）	H18～H25										
下野市新庁舎建設	H28年4月開庁予定										
所轄部課名	県土整備部 道路整備課										

別添図面・・・事業位置図

事業評価調書	
事業名	道路事業
1 事業の必要性	<p>下野市の南北交通は主に国道4号に集中し、慢性的な渋滞が発生していることから、新たな南北の道路ネットワークを構築する必要がある。本路線を構築することにより、下野市の主な地域（旧石橋、旧国分寺の市街地）を結ぶ新市合併支援道路として、日常生活を支える重要な路線となる。また、沿線の工業団地は、渋滞する国道4号を利用するため渋滞対策を必要としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道4号に交通が集中し、慢性的な渋滞が発生            笹原交差点（主要渋滞箇所）：最大渋滞長 300m            小金井北交差点（主要渋滞箇所）：最大渋滞長 100m</li> </ul>
2 事業の適時性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工区北側に接続する笹原工区が平成25年度に完了することから、更なる整備効果を図るため、引き続き事業着手する必要がある。</li> <li>・下野市の新庁舎が平成28年4月に開庁予定であり、アクセス道路として周辺の道路整備が必要である。</li> </ul>
3 事業の適地性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下野市を南北に縦貫する幹線道路として「3・4・801小金井西通り」が都市計画決定されており、この都市計画道路を県道下野壬生線として整備していることから、この小金井工区についても同様に、この都市計画道路を整備することが妥当。</li> </ul>
4 事業手法の適切性（県が事業主体となる理由等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般県道下野壬生線の道路管理者である県が事業を実施する。</li> </ul>
5 事業により予想される効果及び影響	<p>○経済効果（完成2車線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・費用便益比(B/C) 4.7</li> <li>・総便益(B) 76.8億円            ※ 総便益は、供用後50年間の効果を金銭に換算したもので、走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少効果等の合計である。</li> <li>・費用(C) 16.5億円            ※ 費用は、建設費に供用後50年間の維持管理費を加算している。</li> </ul> <p>○国道4号の渋滞緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道4号に集中していた交通が転換し、慢性的な渋滞が緩和される。            (19,900台/日 → 13,900台/日 約30%減)</li> </ul> <p>○都市拠点間の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧石橋市街地と旧国分寺市街地を新たな道路ネットワークで結ぶことにより、新市として、より一体化を促進する市町合併支援道路として地域連携の強化を図る。            (旧石橋町から旧国分寺町間の所要時間が約3分短縮)</li> <li>・石橋第2、第3工業団地へのアクセス向上により、地域の経済・産業を支援する。</li> </ul>
6 事業コスト縮減等の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共工事コスト縮減行動計画2010(平成22年7月栃木県)に基づき、設計・施工各段階においてコスト縮減を検討する。</li> </ul>

(一)下野壬生線 小金井工区 位置図



【標準横断面図】

